

主催：日本福祉大学菊池遼研究室

災害復興と生活再建・コミュニティの課題とは

—東日本大震災の被災地はどうなった？能登半島はこれからどうなる？—

防災・減災関連のイベントや講座は、主に緊急救命期に焦点を当て、「命を守る」ことに注力している。しかし、実際の被災地では、救われた命のその後の展開、つまり生活再建が大きな課題となっている。災害を生き延びた人々は、終わりの見えない生活再建の課題に直面することもある。地域福祉の実践者には、生活再建やコミュニティ形成に焦点を当て、復旧・復興のフェーズを意識しなければならない。災害発生時には、目の前の問題に対処するだけでなく、中長期的な視野に立って復興に向けた取り組みを意識することが必要である。

- ・ 知多半島の地域福祉実践者が南海トラフ地震への備えを促進するため、日頃の地域づくりが災害復興や防災・減災にもつながることへの認識を深める。
- ・ 防災・減災の計画において、緊急救命期だけでなく復旧期・復興期も視野に入れることの重要性を共有する。

日時

2024年 **4月21日** (日) 14:00-17:00

会場

知多市市民活動センター 会議室 (知多市緑町12-1)

対象

行政・社協、NPO、自治会・町内関係者、自主防災組織、民生委員、大学関係者など、地域福祉実践に関わりがありかつ災害に関心のある方

スケジュール

14:00 講演会 (田上琢磨氏)

- ・ 東日本大震災で起きた生活再建・コミュニティの課題
- ・ 東日本大震災から14年目の現在地
- ・ 令和6年能登半島地震で見えてきた課題

15:00 質疑応答・ダイアログセッション

15:45 ワークショップ (進行：菊池遼)

- ・ これまで意識してきた防災・減災のイメージと実際の被災地の課題のギャップは何か
- ・ 知多半島で起こりそうな地域の課題とは
- ・ 知多半島で取り組まなければならない取り組みは何か

16:30 全体統括

17:00 終了

講師プロフィール



田上 琢磨 (たがみ たくま) 氏

一般社団法人石巻じちれん 事務局長
公益社団法人Civic Force コーディネーター

東京都出身。2011年東日本大震災を契機に石巻に移住。一般社団法人ピースポート災害支援センター(～15年度)、福祉仮設住宅「あがらいん」(16年度)、一般社団法人日本カーシェアリング協会(17年度)を経て、2018年より一般社団法人石巻じちれんにて現職。災害公営住宅や大規模集団移転地のコミュニティ支援に取り組んでいる。現在は、公益社団法人Civic forceコーディネーターも兼務。令和6年能登半島地震では珠洲市で活動。

お申込・問合せ先 NPO法人地域福祉サポートちた

TEL (0562) 33-1631

メール spchita@ams.odn.ne.jp

本企画は公益財団法人三菱財団2020年度社会福祉事業・研究助成採択「災害時に支援のミスマッチを解消するための研究調査」(研究代表者：菊池遼)の一環で開催します。

お申込み方法



左記コードから、申込フォームもしくは、サポートちたへメールにて、
①お名前 ②ご所属 ③連絡先TEL
をご記入いただき、お申込みください。

申込フォーム

申込締切：2024年4月17日(水)